

1 がん看護専門分野指導者研修がん放射線療法看護コース 国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター

対象職業 看護師

出典 国立がん研究センターがん情報サービス

https://ganjoho.jp/med_pro/training_seminar/nurse/radiotherapy/index.html

実施主体	国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター			
対象者	以下のすべての要件に該当する方 1) 厚生労働省が指定する都道府県または地域がん診療連携拠点病院等に勤務し、がん診療に従事する看護師で、看護師資格取得後5年以上の実務経験を有する方 2) 受講する研修に関する分野の実務経験を3年以上有する方 3) 所属施設のがん看護において指導者の立場にある方 4) 「がん放射線療法看護認定看護師」の認定を受けていない方			
対象者の要件	受講申請には所属施設長からの申請書、看護管理者の推薦書、受講希望理由書が必要 申請後、センターにて受講可否の判断有 受講が決定した場合、事前課題（現状課題や問題点について）を記入の上研修初日に持参			
講師の職業や経験等	不明			
学習目標	がん放射線療法看護の専門的知識と効果的な指導方法について理解を深め、所属部署や施設のがん放射線療法を受けるがん患者と家族の QOL 向上を目指した主体的な療養生活を支援する能力を高める			
教育内容	時間	方法	テーマ	内容
	1 日目			
	10:00～10:20		オリエンテーション	自己紹介
10:20～11:40 (80分)	講義	がん放射線療法看護 総論	当院の放射線治療部の概要、がん放射線療法を受ける患者の特徴、がん放射線療法看護の専門性と役割、セルフケア支援、患者と家族への心理社会的支援、安全・安楽への援助、など	

1:50~12:50 (60分)	講義	放射線の基礎知識	放射線の種類と特徴、放射線の人体への影響、放射線の防護、など
14:00~15:30 (90分)	講義	がん放射線療法	放射線療法の種類と特徴、急性反応、放射線治療計画、根治的放射線治療、緩和的放射線治療、最新の放射線治療、など
15:40~17:00 (80分)	講義	がん放射線療法後の晩期反応	放射線療法の晩期反応と晩期障害、晩期反応に影響する因子、治療方針の決定における患者・家族とのコミュニケーション、など
2日目			
9:00~10:20 (80分)	講義	がん放射線療法の有害事象のケア(放射線皮膚炎)	放射線皮膚炎のアセスメントと看護
10:30~11:50 (80分)	講義	がん放射線療法の有害事象のケア(粘膜炎症)	粘膜炎(口腔・食道・陰部)のアセスメントと看護
13:00~14:20 (80分)	講義	がん放射線治療計画の理解に基づく看護ケア	がん放射線治療計画の理解に基づく看護ケア
14:30~17:00 (150分)	演習	事例検討、発表	がん放射線療法を受ける患者の、治療計画の理解に基づく有害事象のアセスメントとセルフケア支援に関する事例検討
3日目			
9:00~9:50 (50分)	講義	がん治療におけるIVR総論	IVRの特徴、適応、手技
10:00~10:40 (40分)	講義	がん治療におけるIVRを受ける患者の看護	IVRを受ける患者のアセスメントと看護

	10:50~12:00 (70分)	講義	がん放射線療法におけるチーム医療と地域を含めた連携	がん放射線療法におけるチーム医療、院内外の連携と看護師の役割
	13:10~15:40 (150分)	講義 グループワーク	効果的な指導方法	効果的な指導の基礎知識 研修で学んだことを、効果的に自施設看護師に指導するための方法の検討
	15:40~16:00		まとめ	質疑応答、修了証書交付、アンケート記入
教育方法	講義、演習、グループワーク			
使用教材	不明			
eラーニングの使用有無	不明			
受講者のサポート方法	<p>受講可否の連絡 メール</p> <p>「よくある質問」のPDFあり</p> <p><問い合わせ先></p> <p>国立研究開発法人国立がん研究センター研修事務局（オスカー・ジャパン株式会社内）</p> <p>〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-35-1 ネオ・シティ三鷹</p> <p>TEL：0422-24-6818（平日10:00~12:00、13:00~16:00）</p> <p>E-mail:info-ncc-kensyu@ml.res.ncc.go.jp</p>			
備考	<p>実施日時 2018年7月18日~20日</p> <p>募集人数 50名</p> <p>受講料 25,920円</p>			